

平成18年度 第2回

杵島地区新高校設置準備委員会

日 時 平成19年3月15日(木)

15:00~17:00

場 所 佐賀県立佐賀農業高等学校 図書館

会 順 (目次)

	頁
I 開 会	1
II 委員長挨拶	1
III 議 事	
1 本年度検討事項の報告	1
2 協議事項	2
3 今後の検討課題	5
・ 杵島地区新高校教育課程表 (案)	6
・ 施設整備 (平成16年7月 検討取りまとめより)	8
4 その他	10
IV その他	10
V 閉 会	10

I 開 会

II 委員長挨拶

III 議 事

1 本年度検討事項の報告

◇ 担当者会・設置準備委員会の実施状況

- ・ 第1回 担当者会 平成18年4月26日(水)
- ・ 第2回 担当者会 平成18年5月25日(木)
- ・ 第3回 担当者会 平成18年7月 3日(月)

◎ 第1回 杵島地区新高校設置準備委員会 平成18年7月26日(水)

[内 容]

- ◇ 平成17年度検討事項の報告
 - ◇ 教育理念について
 - ◇ 設置学科について
- ・ 第4回 担当者会 平成19年2月14日(水)
場 所：佐賀農業高校 応接室

◇ 教育事情調査

平成18年5月10日(水)

訪問者 佐賀農業高等学校(金丸教諭、江島教諭、鐘ヶ江教諭)

杵島商業高等学校(森教諭)、教育企画室(古賀企画主幹)

- 福岡県立ありあけ新世高等学校
- 福岡県立田川科学技術高等学校

2 協議事項

(1) 教育理念について

杵島商業高校の検討結果報告

〈教育方針〉

社会の変化に柔軟に対応しながら、基礎学力や基本的な生活習慣の定着に努めるとともに、豊かな心や生きる力を育む教育を行い、時代の進展に対応できる有為な産業人の育成を目指す。

- (ア) 生徒一人一人が持つ可能性を引き出し、個性を最大限に伸ばす指導に努める。
- (イ) 基礎・基本を身に付けさせ、自立した人間を育てる指導に努める。
- (ウ) グローバルな産業社会に貢献できる、将来のスペシャリストを育成する。

〈教育目標〉

- (ア) 学習意欲を喚起し、自ら学び自ら考える力を育てる。
- (イ) 農・商各学科の特色を生かしながら、両学科の連携を深める教育活動を展開する。
- (ウ) 体験学習をとおして、望ましい職業観を育み、自律的な能力と態度を養う。
- (エ) 人を思いやる心、感動する心など、豊かな人間性を育む。
- (オ) 専門高校としての役割を認識し、地域に開かれた学校づくりに努める。

(2) 各学科の検討について

○ 生産科学科

- ▶ 生産技術系：（主要科目）作物、野菜、畜産、果樹

（特色）消費者のニーズに応えるべく進展する食糧生産の過程を学び、知識や技術を習得することで技術革新に対応できる資質を養い、地域農業の中心的な担い手として活躍できる人材の育成をめざす。

- ▶ 環境科学系：（主要科目）草花、植物バイオテクノロジー、園芸デザイン
フラワーデザイン

（特色）人間の生活に潤いを与えてくれる農業分野の多面的役割を理解し、豊かな生活を実現するための環境を科学する知識や技術を習得し、地域社会に貢献できる人材の育成をめざす。

⇒ 白石地区の農業教育として必要な内容である。

⇒ 3年次の課題研究時間の増加（2単位→4単位）で、生徒の研究内容の充実を図る。

○ ライフサイエンス科

- フードビジネス系：（主要科目）食品製造、食品化学、微生物基礎、
動物・微生物バイオテクノロジー

（特色）「農」と「食」をテーマに、食品加工や食品分析に関する基礎知識を学習し、食品産業分野で活躍できる人材の育成をめざす。

- フードデザイン系：（主要科目）フードデザイン、草花、生物活用、発達と保育、
家庭看護・福祉

（特色）食物・保育・福祉に関する基礎的な知識・技術を習得させるとともに、地域との交流活動や地産地消についての学習を通して、社会に貢献しうる人材の育成をめざす。

○ 農業土木科

- 都市環境系：（主要科目）農業構造設計、地域基礎工学

（特色）構造設計や地域・都市基盤整備に必要な知識や技術を学び、それらを地域や都市整備の場面で主体的に活用できる人材の育成をめざす。

- 測量技術系：（主要科目）農業情報処理、測量

（特色）情報技術を用いた設計計算・製図、高度な測量技術を学び、それらを主体的かつ効果的に実践できる人材の育成をめざす。

⇒ 学科名の候補として「環境科学科」、「環境工学科」などが上げられている。

⇒ 以前は、進学や公務員が多かったが、公務員の採用は厳しくなった。

今年は、県職1人、国家3種に2人（／3人）合格。

○ 流通ビジネス科

経済の仕組みや、マーケティング、経済に係る法律など、ビジネスに関する基礎的な学習を通じて、情報化・サービス経済化など、現代の経済社会の変化に柔軟に対応できる能力を育成する。

企業ビジネス活動において、専門的な知識を生かし、生徒自らが商品開発や流通の諸活動に主体的に対応できる人材の育成をめざす。

○ 情報デザイン科

ビジネスに関する基礎的な学習と情報を適切に収集、加工できる知識・技術を学習し、情報社会に対応できる人材を育成する。

ソフトウェアの基礎的な知識・技術を学び、マルチメディアを効果的に活用するとともに、情報発信のできる人材の育成をめざす。

⇒ 「デザイン」に誤解される可能性から、他に変わるものを検討中。

(3) 新高校の新しい取組について

- 教育方針の(ウ) グローバルな産業社会に貢献できる、将来のスペシャリストを育成する。
- 教育目標の(オ) 専門高校としての役割を認識し、地域に開かれた学校づくりに努める。
- ⇒ 「佐農ファーム」として、独自に10講座程度実施し、小動物との「触れ合い体験」などを実施し地域の方々に好評。
- ⇒ 商業科では「エクセル講座」など、幅広い年齢層の人を対象に実施。



- ◇ 農業科と商業科が一緒になって、例えば「ふれ合い体験と年賀状づくり」などの企画を追加できるのではないだろうか。

(4) 教育課程について

3 今後の検討課題

- 教育課程を決定すること
- 施設の利用・改修・新築計画を作成すること

杵島地区新高校教育課程表 (案)

Table with columns for subject categories (e.g., 国語, 数学, 理科, 農業, 商業, 家庭), subject names, and credit hours across 1st, 2nd, and 3rd years. Includes a summary row at the bottom.

備考 ① 農業科の「総合実習」には、上記以外に各学年2単位の時間外指導を実施する
② 総合選択科目群 (2年次: 2単位+2単位=4単位、3年次: 2単位+2単位=4単位)
③ 「総合的な学習の時間」は、1年次(1単位)は実施し、その他は、「課題研究」(2単位分)で代替
④ 「情報」は、「情報C」を「農業情報処理(農業科)」、「情報処理(商業科)」で代替
⑤ ☆は科内選択

杵島地区新高校教育課程案(農業科3クラス、商業科2クラス)

2007年3月15日

学年	科	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1年	生産科学科	国語総合	地理A	数学I	生物I	体育	保健	美術I 書道I	OC I	家庭基礎	農業科学基礎	総合実習	農業情報処理	植物バイオテクノロジー	総学	H R															
	ライフサイエンス科	国語総合	地理A	数学I	化学I	体育	保健	美術I 書道I	OC I	家庭基礎	農業科学基礎	総合実習	農業情報処理	食品製造			食品流通														
	農業土木科	国語総合	地理A	数学I	理科総合A	体育	保健	書道I	OC I	環境科学基礎	農業情報処理	農業土木設計	測量																		
	流通ビジネス科	国語総合	地理A	数学I	体育	保健	美術 書道	OC I	家庭基礎	ビジネス基礎	商品と流通	簿記	情報処理																		
	情報デザイン科	国語総合	地理A	数学I	体育	保健	美術	OC I	家庭基礎	ビジネス基礎	簿記	情報処理																			
2年	生産科学科	国語総合	現代文	現代社会	数学I	生物I	体育	保健	英語I	総合実習	作物 果樹	野菜 草花	畜産 植物バイオテクノロジー	農業機械 園芸デザイン	選択A	選択B	H R														
	ライフサイエンス科	国語総合	現代文	現代社会	数学I	化学I	体育	保健	英語I	総合実習	農業情報処理	食品製造 草花	食品化学 家庭看護・福祉	微生物基礎 フードデザイン																	
	農業土木科	国語総合	現代文	現代社会	数学II	物理I	体育	保健	英語I	総合実習	農業土木設計	測量																			
	流通ビジネス科	国語総合	現代文	現代社会	数学I	理科総合B	体育	保健	英語I	商業技術	マーケティング	簿記																			
	情報デザイン科	国語総合	現代文	現代社会	数学I	理科総合B	体育	保健	英語I	簿記	プログラミング	Webデザイン																			
3年	生産科学科	現代文	世界史A	数学A	理科総合A	体育	英語I	課題研究	総合実習	作物 果樹	野菜 草花	畜産 園芸デザイン	選択C	選択D	H R																
	ライフサイエンス科	現代文	世界史A	数学A	理科総合B	体育	英語I	課題研究	食品製造衛生	食品製造 生物活用	食品化学 発酵と保育	微生物基礎 フードデザイン				動物・微生物・バイオテクノロジー															
	農業土木科	現代文	世界史A	数学II	数学B	物理I	体育	英語I	家庭基礎	課題研究	総合実習	農業構造設計				地域基盤工学 農業情報処理	測量														
	流通ビジネス科	現代文	世界史A	数学A	理科総合A	体育	英語I	課題研究	総合実践	経済活動と法	文書デザイン	国際ビジネス 総合実践 (起業家)																			
	情報デザイン科	現代文	世界史A	数学A	理科総合A	体育	英語I	課題研究	総合実践	文書デザイン	商業技術																				

7

総合選択科目群

2年次	選択A		選択B	
	普通	国語表現I	リーディング	
農業	数学基礎 ※			
	ビジュアルデザイン			
	動物科学	農業情報処理		
商業	フードデザイン			
	農業土木施工 ※	農業水利学 ※		
	食品製造 ※	食品化学 ※		
家庭	原価計算 ●	会計 ●		
	情報処理	ビジネス情報(a)		
	シニアアド ○	シニアアド ○		
商業	簿記 ○	簿記 ○		
		文書デザイン ▲		
家庭	被服製作 ※	家庭看護・福祉		
	フードデザイン ▲			

3年次	選択C		選択D	
	普通	国語表現II	リーディング	
農業		数学基礎 ※		
	動物・微生物・バイオテクノロジー		産業機械	
	環境工学			
商業	農業土木施工 ※	農業水利学 ※		
	食品製造 ※	食品化学 ※		
	原価計算 ●	会計実務 ●		
家庭	マーケティング	英語実務		
	ビジネス情報(b) △	ビジネス情報(b) △		
	文書デザイン ▲	商業技術		
商業		被服製作 ※	郷土料理	
		フードデザイン ▲	服飾手芸	

- 注1) は、学校設定科目を表わす。
 注2) ※印の科目は、基本的に、2年次と3年次の継続履修。
 注3) ▲印の科目は、2年次、3年次ともに同じ内容である。
 (重複履修できない)
 注4) ○印の科目は、2年次(選択A+選択B)のセット履修が基本。
 注5) ●印の科目は、2年次(選択A+選択B)と3年次(選択C+選択D)の継続履修(8単位分)が基本。
 注6) △印の科目は、3年次(選択C+選択D)のセット履修が基本。
 注7) 流通ビジネス科のみ選択可
 注8) 流通ビジネス科・情報デザイン科ともに選択可
 注9) 情報デザイン科のみ選択可
 注10) ビジネス情報の内容については(a)表計算1級 (b)データベース応用

(6) 施設設備

再編統合による新高校において、効果的な教育活動を行う上で、必要となる施設設備について、教育課程に基づいて検討した。

① 基本的な考え方

- ・ 新高校の教育内容に基づいて、各学年、各クラスでの履修科目、単位数等から、模擬時間割を作成した上で、必要な施設を検討する。
- ・ 新高校の必要面積を精査し、施設の併用についても検討した上で、不足する施設・設備を確定する。
- ・ 再編を行う学校の既存施設の有効活用及び改修を前提とするが、不足する施設については、新築や増築を含めて検討する。

② 必要となる施設設備（佐賀農業高校校地に新高校を設置した場合）

普通教室	普通科特別教室	農業科特別教室	商業科特別教室
15室	社会科、理科教室 CAI、芸術教室 食物、被服実習室、他	農産加工系実習室 食品化学系実習室 農業土木系実習室、他	簿記室、情報処理室 マルチメディア室 総合実践室、他

現有施設で対応するもの	普通教室（農業科、商業科）、普通科系の特別教室、農業科系の実習室、商業科系施設（一部）
施設の改修により対応するもの	簿記室、マルチメディア室
新築が必要と考えられるもの （配置図面斜線部分）	総合実践室、商業科コンピュータ室

※ 改修・新築の必要がある施設については、使用する生徒数の見込み数等の決定後に、必要性、規模、利用方法等を含めて、改めて検討を行う。

【参考】学科配置状況の比較（佐賀農業高校、杵島地区新高校）

<現状>

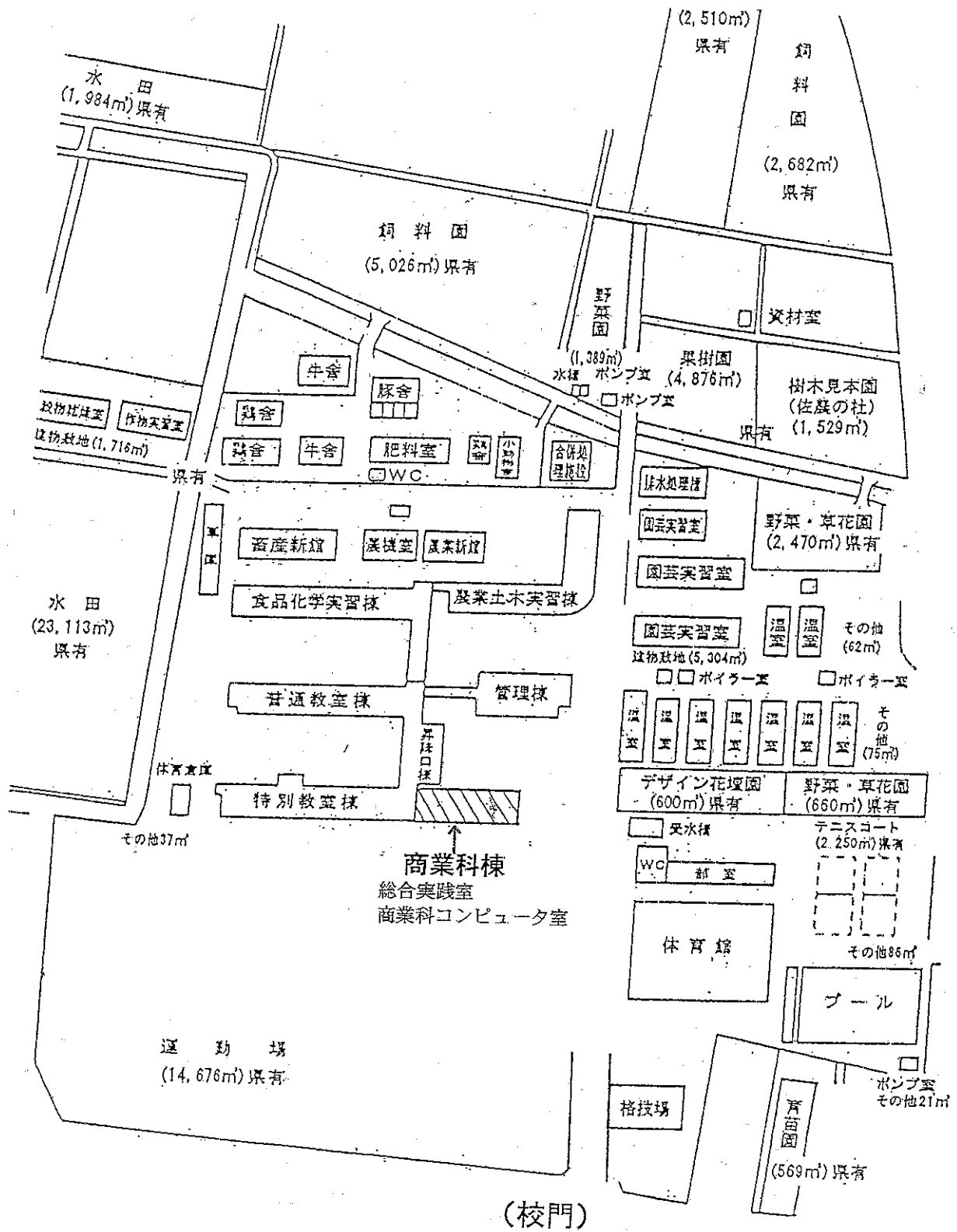
佐賀農業高校 （平成15年度）	生産科学科（農） 食品産業科（農） 農業土木科（農） 生活文化科（農） （4学級4学科）
--------------------	--

<新高校>

杵島地区新高校	生産科学科（農） ライオンズ科（農） 農業土木科（農） 流通ビジネス科（商） 情報管理科（商）
---------	---

※ 新高校は、1学年5学級（5学科）規模となるが、佐賀農業高校は、5学級規模で設置されていることから、特に大きな増設等は、必要ない。

③ 配置図面 (佐賀農業高校校地に新高校を設置した場合)



4 その他

IV その他

V 閉会